

# 第4回SDGsエコフォーラムin埼玉 申込用紙 [締切12/2(金)まで]

必要事項をご記入またはチェック☑のうえ、メール又はFAXにてお申込みください。個人情報は目的以外に使用しません。

**E-mail : goto@kannet-sai.org FAX:048-749-1218**

私は、環境省の国民運動「COOL CHOICE (クールチョイス)」に賛同し、行動することを宣言します。

COOL CHOICE とは、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買換え」、「サービスの利用」、「ライフスタイルの選択」など、地球温暖化防止に役立つあらゆる「賢い選択」を実践していく国民運動です。あなたの宣言をお待ちしています。

お名前	ふりがな	ご所属
TEL		E-mail
参加方法	<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> オンライン    (※後日、参加方法をお送りしますので、必ずE-mailをご記入ください)	

↓ 参加又は希望する箇所に☑をお願いします。定員に達し、ご参加いただけない場合はご連絡いたします。

全体会 (10:00 ~ 11:50)	
<input type="checkbox"/>	・基調講演「脱炭素をテコに強靱で持続可能な地域を目指す ～地域循環共生圏(ローカルSDGs)の創造～」 中井 徳太郎氏 (前環境事務次官) ・高校生SDGsスピーチ～エネルギー教育に関する探究活動発表～ ・埼玉県地球温暖化防止活動推進員 感謝状贈呈式/埼玉県エコアップ認証事業所表彰式
分科会 (13:15 ~ 16:30) いずれかに☑をお願いします。※会場定員各30名、オンライン定員各100名	
<input type="checkbox"/>	持続可能なライフスタイル
<input type="checkbox"/>	私たちの暮らし、生物多様性を守ろう
<input type="checkbox"/>	再生可能エネルギーによる地域脱炭素づくり
<input type="checkbox"/>	若者が創造する脱炭素な未来 [対象: Z世代(10~20歳代程度)]
<input type="checkbox"/>	食と農のローカリゼーション
報告書について (希望される方には、令和5年3月下旬に送付します)	
<input type="checkbox"/> 希望する	※送料(300円)は受付時にお支払いください。 オンライン参加者には、原則着払い(送料300円程度)で送付します
<input type="checkbox"/> 希望しない	
送付先住所 〒	
宛名	様宛

問い合わせ  
連絡先

## 第4回SDGsエコフォーラム in 埼玉実行委員会事務局

(埼玉県地球温暖化防止活動推進センター/特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉)  
〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎3階

TEL : 048-749-1217(平日9:00~16:50) FAX : 048-749-1218 URL : <https://www.kannet-sai.org/>



**第4回 SDGsエコフォーラムin埼玉**

つながろう 広がろう 世代を超えて

# エコの環

**日時** 2022年12月10日(土) 10:00 ~ 16:30  
**会場** ソニックシティビル & オンライン(予定)  
**参加** 無料 ※報告書が必要な方は送料をご負担ください

SDGsエコフォーラムin埼玉は、「環境まちづくりフォーラム・埼玉」「低炭素まちづくりフォーラムin埼玉」の実績を継承し、持続可能な社会の構築を見据えた新たな取組としてスタートし、今年度で4回目を迎えます。  
 県内において環境を中心とする活動を実践している団体、企業、行政、教育機関、地球温暖化防止活動推進員等が一同に会し、情報交換、相互交流、情報発信等を通じてSDGsの達成に寄与することを目的とします。

**主催** 第4回 SDGsエコフォーラムin埼玉実行委員会  
**共催** 埼玉県地球温暖化防止活動推進センター、埼玉グリーン購入ネットワーク  
**後援** 埼玉県

### 会場参加のご注意

会場内ではマスク着用のうえ、受付にて検温・手指消毒等の感染対策にご協力ください。なお、風邪症状がある場合や濃厚接触の疑いがある場合等は、ご参加をお控えください。  
 なお、感染拡大状況によっては、開催方法を変更させていただく場合があります。予めご了承ください。

※環境省「令和4年度地域における地球温暖化防止活動促進事業」及び公益財団法人サイサン環境保全基金を活用して開催します

# プログラム予定

10:00 ~ 10:10

挨拶

会場：4階市民ホール

10:10 ~ 11:10

基調講演「脱炭素をテコに強靱で持続可能な地域を目指す  
～地域循環共生圏(ローカルSDGs)の創造～」

中井 徳太郎氏(前環境事務次官(日本製鉄顧問))

講師プロフィール

東京大学法学部卒業。大蔵省入省後、主計局主査などを経て、富山県庁へ出向。日本海学の確立・普及に携わる。その後、財務省理財局計画官、財務省主計局主計官などを経て、東日本大震災後の2011年7月の異動で環境省に。総合環境政策局総務課長、総合環境政策統括官などを経て、2020年7月より環境事務次官を務め、2022年7月に退官後、環境省顧問を経て、2022年9月より日本製鉄顧問に就任。



11:10 ~ 11:30

高校生SDGsスピーチ～エネルギー教育に関する探究活動発表～  
相澤修さん、大熊幹乃さん、西川愛瀬さん、飯田実生さん(筑波大学附属坂戸高等学校 2年次)

11:30 ~ 11:50

埼玉県地球温暖化防止活動推進員 感謝状贈呈式／  
埼玉県エコアップ認証事業所表彰式

11:50 ~ 13:15

休憩

13:15 ~ 16:30

分科会 ※5つの分科会を同時開催します

会場：4又は6階会議室(予定)

- ・持続可能なライフスタイル
- ・私たちの暮らし、生物多様性を守ろう
- ・再生可能エネルギーによる地域脱炭素づくり
- ・若者が創造する脱炭素な未来
- ・食と農のローカリゼーション

各会場は、  
事前にホームページに  
掲載しますので、  
事前にご確認のうえ  
ご来場ください。

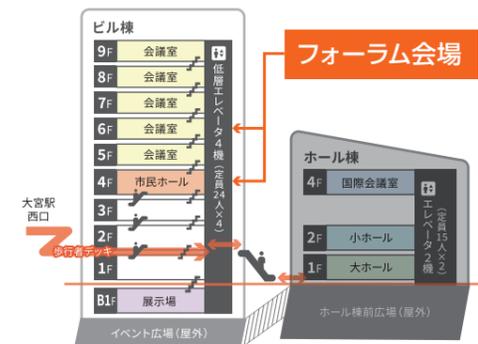
# 会場アクセス

## ソニックシティビル

〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5

●電車でお越しの方

JR「大宮駅」西口より徒歩5分



※4階市民ホールへは、エスカレーターをご利用ください。  
※6階会議室へは、低層エレベーターをご利用ください。  
※公共交通機関をご利用ください。



# 分科会紹介

各プログラム詳細は、  
ホームページに順次公開します  
<https://www.kannet-sai.org/about/activities/2022/1210.html>



形式：講義+パネルディスカッション

## 持続可能なライフスタイル

～ミライを想うわたしたちの共通点～



『持続可能なライフスタイル』様々な取組はありますが、例えば気候危機は、住まいにお金をかけて高性能な断熱材や設備機器を導入するだけで解決に向かうのでしょうか?当日は、住まい、食、癒し、学びなどトータルな暮らしを実践している方々に、新聞記者さんが公開取材を実施。未来への想いを共通点に、新しく楽しい“持続可能な暮らし”の解決策について対話を通して探っていきます。皆様もぜひ対話にご参加下さい。

形式：講義+フロアディスカッション

## 私たちの暮らし、生物多様性を守ろう

～地域の「生き物が生息できる」環境を作ろう～



県南部は都市化が進行し、自然の生態系が減少しています。都市部の緑の保全だけでなく、地域の生き物が生息できる環境づくりが大切です。住宅の小さな庭にも在来樹種を植栽し、小さな「里山」を作り、街全体を連続した「里山」として生物多様性を守ろうとする試みもあります。生物多様性を守る活動や県内の希少動物調査等について報告を聞いた後、意見交換を図り、都市の生物多様性回復について考えましょう。

形式：講演+フロアディスカッション

## 再生可能エネルギーによる地域脱炭素づくり

～地域で再エネを普及拡大するための方策は!～



地域における再エネの推進は、脱炭素を進めるためには不可欠であり、さらに地域経済の活性化にもつながります。しかし、現状では地域で再エネを導入するには課題が山積し、国の2030年再エネ導入目標を達成できるのか疑問を感じます。そこで、今回は地域で再エネを拡大するにあたり課題を整理し、推進していくための方策を考えます。専門家や先進事例から再エネを取り巻く状況や取組を学び、最後に参加者と意見交換を行います。

形式：講演+発表+ワークショップ

## 若者が創造する脱炭素な未来

～ライフスタイル～私たちが2030年に向けて実行するアクション～



2030年温室効果ガス半減に向けて、若者の視点で身近なライフスタイルに関するテーマを選択し発表します。その後会場参加の若者と一緒に、脱炭素に向かって自分たちが実行できるアクションについて考えます。当日は専門家のレクチャーもありますので、これから脱炭素の取組を学びたいと思っている若者、何かアクションを起こしたいと思っている若者!ぜひ集まり意見を交わしましょう。

形式：事例発表+フロアディスカッション

## 食と農のローカリゼーション

～新たなライフスタイルの実践者たち～



ポストコロナの時代で増加した家庭菜園など農的な生活へもたやす健康的な生活へと繋がる半農半Xの暮らしに着目します。小川町の資源や人の循環が育む里山農村「OGAWA'Nプロジェクト」。越谷市では毎日の「食べる」を見直す場所を提供し、環境課題や様々な問題を知るきっかけに繋げている取り組みをご紹介します。様々な事例をとおし、地域の農業へ課題解決の糸口をみつけ、農業のミライを考えます。地域の小さな取り組みが繋がる一日としたいと思っています。

※ワークショップ形式は、会場での参加をお勧めしますが、感染拡大状況によってオンラインに移行いただく場合があります。予めご了承ください。